

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：北海道のきのこの多様性と生き方 ILAS Seminar :Fungal diversity in Hokkaido			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 助教 杉山 賢子 フィールド科学教育研究センター 准教授 小林 和也		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・開講期	2025・前期集中	受講定員 (1回生定員)	6 (6) 人	配当学年	1 回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 9/21-9/25	教室	北海道研究林標茶区			使用言語	日本語
キーワード	森林科学 / きのこ / 生物多様性 / フィールド調査 / 生態学						
[授業の概要・目的]							
本講義では、フィールド科学教育研究センターの北海道研究林において菌類の子実体（きのこ）相調査を行い、森林における菌類の多様性と機能について学ぶことを目的とする。							
[到達目標]							
・講義と野外観察を通して、森林における菌類の機能を理解する。 ・きのこと樹木を中心に、生物の分類・同定手法を修得する。 ・気候や施業の有無が森林の植物・きのこ組成に与える影響を理解する。							
[授業計画と内容]							
1. 授業ガイダンス 実習の内容の説明と事前講義を行う。 場所：フィールド研会議室（農学部総合館 N283） 日時：4/25 (金) 5時限目 2. 京都の里山の植生・きのこ相を学ぶ（野外実習） 場所：京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地 日時：4/26 (土)。集合場所・時刻はガイダンス時にアナウンスする。							
以下は、夏休み期間中（9/21-25）に、京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林（標茶区）において行う。 3. 北海道の植生を学ぶ（講義・野外実習） 4. 森林における菌類の機能を学ぶ（講義・野外実習） 5. 菌類調査法を学ぶ（講義・野外実習） 6. 人工林と天然林のきのこ相比較（野外実習） 7. 亜寒帯（北海道研究林）と冷温帯（芦生研究林）のきのこ相比較（実習） 芦生研究林で行われている「ILASセミナー：芦生研究林の菌類多様性に触れよう」と遠隔で繋ぎ、きのこ相の比較・交流を行う。							
2-7の内容を踏まえ、きのこの多様性や組成がどのような要因の影響を受けて変化するのかについて考察し、レポートを作成する。							
ILASセミナー：北海道のきのこの多様性と生き方(2)へ続く↓↓↓							

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義と野外実習での積極性（50点）、レポート（50点）により評価。

[教科書]

実習時に、授業資料を配布する。

[参考書等]

（参考書）

『森林科学シリーズ10 森林と菌類』（共立出版）ISBN:978-4320058262
『くらべてわかるきのこ（原寸大）』（山と溪谷社）ISBN:978-4635063487
『日本のきのこ』（山と溪谷社）ISBN:978-4635090445（図鑑は実習中に貸し出すため、持参の必要はありません。）

[授業外学修（予習・復習）等]

現地での実習前に、北海道の自然・植生について予習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・きのこに詳しくない方の受講も歓迎します。
- ・9月の実習は京都大学北海道研究林（<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/hokkaido/>）で行います。気温が京都より10℃くらい低いので、防寒対策をしてきてください。
- ・北海道での実習の集合・解散は、JR釧網線の標茶駅を予定しています。実習前の前泊も可能です。
- ・集合場所までの旅費は受講生負担になります。
京大からの交通費は片道3万円～（経路や航空券の価格により変動）です。
- ・現地では旅費と別に、およそ1万円（宿泊費・食費等実費）がかかります。
- ・参加希望者は学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償付）に必ず加入してください。
- ・前期の講義ですが、採点報告日後に実習を実施するため、後期の講義と合わせて成績報告をすることとなります。
- ・ご質問は、杉山（sugiyama.yoriko.3f@kyoto-u.ac.jp）までご連絡ください。